

## ガイドライン 2020 の主な変更点

- 1 傷病者発見時の対応手順において、反応がない場合のほか、反応があるかないかの判断に迷う場合、または分からない場合も、心停止の可能性のあるものとして行動するとされました。
- 2 119 番通報時において、電話のスピーカー機能などを活用すれば、通信指令課員の口頭指導を受けながら胸骨圧迫を行うことができるとされました。
- 3 呼吸の確認と心停止の判断において、「普段どおりの呼吸か」どうか判断に迷う場合、又はわからない場合も、心停止と判断して胸骨圧迫を開始するとされました。
- 4 AED の電極パッド等について、従来の「小児用パッド・モード」が「未就学児用パッド・モード」へ、「成人用パッド」が「小学生から大人用パッド」へ名称変更されました。
- 5 令和 3 年 7 月に認可された「オートショック AED」(ショックボタンを有さない自動体外式除細動器) について新たに記載されました。
- 6 気道異物除去において、反応があるが、咳をさせても異物が排出できない場合は、まず背部叩打法を試みて、効果がなければ腹部突き上げ法を試みるとされました。
- 7 新型コロナウイルス感染症流行期の一次救命処置について、これまで「救急蘇生法の指針 2015 (市民用)」の追補として示されていましたが、新たに記載されました

(別紙 1 参照)

以上